

## 主な内容

3面 ■ 学童クラブ27年度の利用申し込みを受け付けます / 4面 ■ 誰もが幸せを実感できる福祉と安心のまち あらかわ / 8面 ■ 衆議院議員選挙

発行 ■ 荒川区 ☎(3802)3111 〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 / 毎月1日・11日・21日 / 80000部発行

### 肢体不自由のある方

電車やバスでは、揺れる中で立っていることは困難なので、座席を譲りましょう。



### ヘルプマークを知っていますか？

区では、付いた「安心カード」を作成しました。



外見から分かりにくい義足や人工関節を使用している方、心臓疾患や難病の方などが周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるためのマークです。

### 視覚障がいのある方

電車やバスに乗る列に並ぶ場合、声を掛けて最後尾に誘導して下さい。



### 内部障がいのある方



外見では分からない心臓疾患などがある方は、携帯電話の電波が身体に影響する場合がありますので、病院や乗り物の中では電源を切って下さい。

### 聴覚障がいのある方

補聴器を着けている方には、聴き取りやすい側で話して下さい。

### 知的障がいのある方

物事を説明する時は、ゆっくりと本人が分かる言葉で話して下さい。

### 精神障がいのある方

励ましは、ストレスとなることがあるので、気を付けましょう。



### 言語障がいのある方

声を出しにくい、ろれつが回らない場合は、ゆっくり話を聞いて下さい。



こんなとき  
ひと声掛ける  
やさしさを



障がいのある方は、毎日の生活を過ごす中で、さまざまな場面で困難な時があります。そのような場面に出会ったら、勇気を出して、まず、声を掛けるなど支援をお願いします。

問合せ 障害者福祉課 ☎内線 2685

### 日常生活や緊急のときに活用下さい

#### あらかわ安心カード

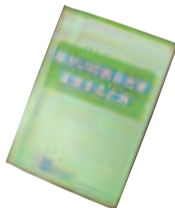
緊急時や災害時に個人の情報（緊急時の連絡先、所属、身体的な状況等）をお知らせするカードで、援助を受ける時に役立ちます。



#### 支援マニュアル本

「障がいのある方を支援するとき」

日常生活や災害時で活用出来る支援マニュアル本です。障がい別に障がいの特性、接し方、配慮すること、避難所での対応などわかりやすい内容となっています。



#### コミュニケーション支援ボード

文字や言葉で伝えることが困難な障がい者や支援する方が、絵カードに指差すことで意思や要望を伝えることができます。



配布場所 区役所1階障害者福祉課、たんぽぽセンター、アクロスあらかわ

## 8面

衆議院議員選挙  
最高裁判所裁判官国民審査  
投票日は12月14日(日)

**荒川区区民栄誉賞受賞者 松本源之助氏が お亡くなりになりました**

日暮里に生まれ、現代人にも親しめる創作神楽を次々と発表され、日本や世界各地で活躍されると共に、区の文化の向上にも多大な貢献をされた松本源之助氏(90歳)が11月11日逝去されました。松本氏は江戸里神楽土師流四代目家元として、平成18年に荒川区区民栄誉賞を受賞、平成20年に名誉都民の顕彰を受けています。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



**窓** 誰もが幸せを実感できる福祉のまちあらかわを目指して

「誰もが幸せを実感できる福祉と安心のまち あらかわ」これは、第3期荒川区障がい者プランの基本理念です。私は、この理念のもと、障がいのある方もない方も安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、障がい者福祉施策を推進して参りました。

また、留守番看護師派遣事業や盲ろう者支援事業、障がい者福祉サービスの利用者負担軽減策、福祉避難所の指定など区独自の施策を、全国に先駆けて実施して参りました。

障がい者とその家族の方が抱える「親なき後」の問題について、荒川区自治総合研究所では、7月にその研究成果を「親なき後の支援に関する研究プロジェクト報告書」としてまとめ

「誰もが幸せを実感できる福祉と安心のまち あらかわ」を目指して、これからも全力で取り組んで参ります。

私は、障がいのある方もない方も誰もがその人らしく、安心して、生き生きと生活出来る「誰もが幸せを実感できる福祉と安心のまち あらかわ」を目指して、2020年オリンピック・パラリンピックが東京で開催されますが、知的発達障がい者を対象とした「スペシャルオリンピックス」、聴覚障がい者を対象とした「デフリンピック」、国際オリンピック委員会が「オリンピック」の名称の使用を許可しております。多様性を尊重する社会を目指し、オリンピック・パラリンピックに続いて、デフリンピックやスペシャルオリンピックスを東京に誘致し、世界初となる4つのオリンピックの同一都市での開催の実現に向けて、努力して参ります。

「親なき後」の生活支援として、「親なき後」の誘致や成年後見制度の啓発に積極的に取り組んでおりますが、今後、報告書の内容を踏まえ、具体的に政策等に反映して参ります。

荒川区長・特別区長会会長 西川 太一郎

